

「4.28」シンポジウム—2015年4月25日(土)13時開場 東京・全水道会館にて

敗戦70年の日本と沖縄/アジア



仲里 効さん



崔 真碩さん



丸川 哲史さん



敗戦 70 年。安倍政権は、憲法 9 条の制約を踏み越えて、日米ガイドラインの見直し—集团的自衛権の法制化から「戦争する国家」への道を突き進んでいる。本年 8 月には、「安倍談話」を出すという。東アジアの緊張を一層高めるのは確実であり、その最前線に立たされるのが沖縄だ。

そしていま、沖縄・辺野古では凄まじい事態が進行している。地元の名護市長選挙(1月)、市議会選挙(9月)、沖縄県知事選挙(11月)、衆議院選挙・沖縄選挙区(12月)と、これ以上示しようがないくらい明確となった〈民意〉を踏み潰すかのように、海上保安庁・県警機動隊の重弾圧体制の下、新基地建設に向けた作業が「粛々と」(菅官房長官の発言)強行されている。シュワブゲート前でも、海上でも、警察と海保の暴力的「警備」で負傷者・逮捕者が続出している。安倍官邸のこのような強硬姿勢は在沖米軍の占領者意識を増長させ、米海兵隊が直接乗り出し市民を拘束するという事態さえ生じている。

しかし、沖縄の人々は、決してひるむことなく、連日ゲート前に座込み、海上にカヌーを漕ぎ出し、抗議・阻止行動を展開している。日米の軍事植民地状況からの自立解放、〈自己決定権〉を求める沖縄の人々の闘いにどう向き合うか。問われているのは、私たちだ。



「4.28」は、1952年4月28日、サンフランシスコ講和条約及び旧日米安保条約が発効した日。沖縄は日本(天皇メッセージ!)によって米軍政下の軍事属領として売り渡された。「4.28」を考えることを通じて、米軍占領から日米共同管理下の軍事植民地状況へと続く〈戦後なき沖縄〉と〈敗戦70年の日本〉の現在を問う。そして、米軍事戦略に深く規定された東アジアの残存冷戦構造を超えて、環太平洋圏の人々と連なる〈未来〉を構想する。「4.28」シンポジウムへ、多くみなさんの参加・賛同を呼びかけます。

◆「4.28」シンポジウム・プログラム

★講演 〈戦後なき沖縄〉と敗戦70年

仲里 効さん(映像批評家)

★発言Ⅰ:〈影の東アジア〉から

崔 真碩さん(広島大学、文学者、テント芝居役者)

★発言Ⅱ:台湾・中国からの視点

丸川 哲史さん(明治大学、台湾・大陸中国・東アジア文学・歴史研究)

★辺野古現地からのメッセージ

◆日時 2015年4月25日(土) 13時開場—17時まで

◆会場 全水道会館4階大会議室(都営三田線・JR水道橋駅下車)

◆資料代 500円

◆賛同を呼びかけます! 団体2000円/口、個人1000円/口

◆主催 「4.28」シンポジウム実行委員会 (連絡(株)情況出版 TEL03-5213-3238)



出席者のプロフィール(発言順)

- ◆仲里 効(なかざと いさお)さん・・1947年、沖縄・南大東島に生まれる。雑誌『EDGE』編集長を経て、映像・文化批評家。共編著『沖縄/暴力論』(2008年)、著書に『ラウンドボーダー』(APO 2002)『オキナワ、イメージの縁』(2007)『フォトネシア』(2009)『悲しき亜言語帯』(2013)『眼は遍歴する』(2015)編著『琉球共和社会憲法の潜勢力』(2014、以上未来社)など。
- ◆崔 真碩(ちえ じんそく)さん・・1973年、韓国ソウル生まれ、東京育ち。広島大学教員。文学者。テント芝居「野戦之月海筆子」(ヤセンノツキハイビーツ)の役者。主編訳書『李箱作品集』(作品社2006)著書に『朝鮮人はあなたに呼びかけている—ヘイトスピーチを越えて』(彩流社2014)。主な出演作「蛻(もぬけ) てんでんこ」(2013東京)。
- ◆丸川 哲史(まるかわ てつし)さん・・1963年、和歌山市生まれ。明治大学教員。台湾・大陸中国・東アジアの文化と思想研究。著書に『思想課題としての現代中国 革命・帝国・党』(平凡社、2013)『魯迅出門』インスクリプト、2014)『阿Qの連帯は可能か—来たるべき東アジアのために』(せりか書房2015)。翻訳に『台湾68年世代—戒厳令下の青春』(2014作品社)など。



▲東京シンポ(13/4/28 文京区民センターにて)



▲那覇シンポ(13/5/18 沖縄県自治会館にて)



▲東京シンポ(14/4/27 文京区民センターにて)

本シンポジウムは、2013年、2014年の「4.28」シンポジウムの問題意識を継承しつつ準備された。

[2013年4.28東京-5.18那覇シンポ]

「サンフランシスコ講和条約60+1年」を共通テーマとするシンポジウムが、2013年4月28日東京・文京区民センター(司会はジャーナリストの二木啓孝さん、出席は石垣島の太田静男さん、名護・ヘリ基地反対協の安次富浩さん、ピープルズプラン研究所の武藤一羊さん)と5月18日那覇・自治会館(司会は沖縄タイムスの長元朝浩さん、出席は早稲田大学院大学の李鍾元さん、明治大学の丸川哲史さん、太田静男さん、映像批評家の仲里効さん)で開催された。東京シンポには約200人、那覇シンポには約120人が参加した(報告は情況誌2013年7・8月合併号に掲載)。

[2014年4.27東京シンポ]

「東アジアの中の沖縄/日本」をテーマに、2014年4月27日東京・文京区民センターで開催され、約150人が参加した。司会は二木啓孝さん、出席は思想家・詩人の川満信一さん、恵泉女学院大学の李泳采さん、丸川哲史さん(報告は情況誌2014年11・12月合併号に掲載)。